

吉井つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年

6	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	6	4	日	8:30	14:30	高倉市民の森	14名
活動名称	高倉里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が散策路と小川の清掃活動が続けている高倉市民の森は、鶴ヶ島市では最大面積の樹林地を有しています。森の中央を気持ちよい小川の飯盛川が横切っています。この森は未整備部分が残し、放置すると人を拒む自然に変化することが観察できます。様々な自然環境を持つ高倉市民の森が、未来に残す価値を持つ大切な森であることを理解してもらおう。

2、活動内容ほか

コロナが第5種となり、参加者増大の期待があった。元の予定日6/3が雨天順延となり、6/4開催となった。予約運営のツリーイングは1/4がキャンセルとなったが、雨天順延にしては参加者が予定通り来場し、参加者もスタッフも楽しめるイベントになった。内容は、いつものツリーイング、ハンモック、綱渡り、川遊びの4項目を開催した。清々しい新緑と晴天のした、どれも人気が出て、里山の遊びを楽しんでくれた。

3、評価：

ツリーイングは、鶴ヶ島の里山体験会の目玉企画であり、小さな子どもたちが10m以上の高い枝まで登っていくところを見ると、これこそ里山環境でできる最高の体験活動だと言え、子どもたちは、喜んでくれた。ハンモックと綱渡りは、ほぼ定員のため、準備した設備はつかいきり、それでも、順番待ちすることなく、体験できた。 昨年は、夢基金の申請人数に一度もとどかなかったが、今回の参加者は、子ども86名、大人80名と申請数を超えることができた。

初めての雨天順延で日曜日に開催したことで、ツリーイングが40人受付のうち、10人キャンセルとなった。ツリーイング以外も同様なキャンセルがあったとすれば、本来子ども115名の参加だったことが見込まれる。 コロナ明けで、野外体験会に対する需要が戻ってきていることがうかがわれる。

4、課題

おや子劇場さんをのぞくと、最後まで残った里山クラブ会員は9名であった。ツリーイング団体や、一二三富の会、西部地域支え合い協議会など、協力団体が手助けしてくれたおかげでイベントが成立した。雨天順延のせいもあると思えるが、里山体験会のような、大きなイベントには、できるだけ多くの会員が参加してほしい。

<里山参加会員>

内藤、小澤邦、小沼、吉富、牛島、
松井、坂木、柳川、小嶋、吉井、小澤弘、井上、田中、木部

<活動写真>

